

「分科会での発表を終えて」

宮城県多賀城高等学校

小畑 友哉 (2年)、橋本 朔良 (2年)

今回の分科会は大きく分けて2つの目的がありました。

1つ目は本校の活動をより多くの人たちに知ってもらおう事です。今まで交流したことのない学校や生徒さんがいる中で被災状況や本校独自の取り組みなど分かりやすく伝えられるように心がけました。

また、今回は生徒会執行部だけでなく、本校災害科学科2名も参加し、実際に災害について学んでいる生徒の声を伝えることが出来たと思います。

たくさんの質問もいただき、自分たちがおもっていることを話す事が出来ました。

2つ目の目標は他校の取り組みを知ることです。普段他の学校の取り組みを知る機会は多くありません。今回、他校の取り組みについてたくさんの発表を聞くことができ、参考になることが多くありました。各校独自の活動にもそれぞれの特色を生かした物が多くありました。

他にも、共通の活動を行っている学校やなどもあり、今後の活動の幅が増えたように感じました。

私たちが学ぶことが多くあり、この分科会に参加でき、いい経験をする事が出来ました。

また、学校の特色を生かしながら活動をするという事を改めて考える機会になりました。

今回のような学校の活動紹介の場がある事で自分たちの活動に対するモチベーションや異なる視点で考えるということに繋がると思います。

今までなかった考えを他校との交流をする事で見出す事ができました。

このような機会を設けて頂き本当にありがとうございました。



【分科会の様子】

【感想】

今回全国防災ジュニアリーダー育成合宿に参加して、新たな情報や考え方を得ることができました。分科会に参加できたことで本校の活動を伝えるだけでなく、他校の活動を知る事ができました。普段は伝えて終わりという事が多いのですが、他の意見を知る事ができ、良い経験になりました。質問してくれる生徒さんも多く、本校の活動に興味を持って頂き嬉しかったです。

他校の発表を聞いて、本校の取組で改善の余地のある活動や、新たな発見もあり、大きな学びにつなげる事ができたと思います。この経験を今後の活動に生かしていきます。

特に釜石中学校や須崎工業高校の発表を聞いて、地域は違っても同じような活動を行っており、この分科会をきっかけに交流できればよりよい活動に

繋げることができると思いました。

これをきっかけに更に防災活動に力を入れながら交流の輪を広げていきたいと思いました。このような機会を無駄にしないよう、学習したことを有効的に活用できるようにしていきたいです。

本校としても今後もこのような機会に積極的に参加していければよりよい活動、意見交換、交流につながると思っています。今まで以上に学校全体で防災、減災に取り組んで、今回の経験を活用しながら発展させていきたいと思っています。

このような交流の場を設けて頂き、本当にありがとうございました。

私は今回の防災ジュニアリーダー育成合宿に参加して、たくさんの新しいことを知ることが出来ました。一番自分のためになったと思うのは、6回のワークショップです。私は人見知りで消極的な性格なので初対面の人たちとうまく話せるかとても不安でした。ですが、何回も話し合いをしているうちに自分の伝えたいことを発言できるようになりました。優しく、楽しく話し合いをスムーズに進めてくれた参加者の皆さんに感謝したいです。ありがとうございました。

また、東日本大震災を経験した東北の方々、阪神淡路大震災に詳しい兵庫県内の方、全国から集まった中高生、大学生の方、それぞれみんな違う意見を持っていて異なる視点で物事を考えることが出来ました。これからは1つの視点だけで決めつけるのではなく、別の視点からもみて考えていこうと思えた大切な機会となりました。

次に印象に残ったのが齋藤先生の避難所運営の実際という講義です。私は当時避難所生活をしていて、運営側がこんなに大変だと思ってもいませんでした。運営側の先生の話聞いて心が痛くなりました。避難所運営に1番大切なのは「安全」。次に「信頼」だそうです。また、災害時は子ども達の笑顔が力になると仰っていました。ここで私は災害時の中高生の役割を知ることが出来ました。笑顔でいること。このことを忘れずに過ごしていきたいです。

私は災害科学科の一員です。発災時のこと、避難所運営の仕方、ボランティアのあり方など災害が発生した後の事だけを考えるだけでは足りないのです。防災減災という考え方を持って災害が発生する前のことを考えるのことも必要です。これからどういう取り組みが必要か具体的な答えは出ていませんが、今回学習した内容、新しい考え方、姿勢を活用していきたいです。本当に貴重な経験をすることが出来ました。



私は担任の先生に勧められたのがきっかけで今回の防災ジュニアリーダー育成合宿に参加しました。勧められた時は「防災に力を入れている他校の人たちと交流できる！」とうれしい反面、「自分の意見をきちんと言えるか」など不安な気持ちもありました。

実際に行ってみると参加していた人たちが防災についてまじめに取り組んでいて、話しやすい環境を作ってくれていたの自分の意見を話すことができました。

育成合宿で行われた講義の中で1番心に残っているのは石巻西高校前校長である齋藤幸男先生の講義です。自分は東日本大震災を体験したのですが避難所生活をしたことがなく、テレビやインターネットで情報を知るくらいでした。ですから当時実際に避難所運営をされた齋藤先生のお話を聞いて運営をする上で、「上の立場になる人を作らず、避難されてきた方の気持ちを考えて役割分担をし、協力することが大切なのだ。」ということを知ることが出来ました。そのほかにも人の声やこどもの笑顔が生きる支えになると聞き、避難所でも笑顔が作れるように、できたら子どもたちが遊べる所をつくる必要があるのだと思いました。

今回の合宿に参加するまで、他の高校が防災に力を入れているといえど多賀城高校ほどではないと思っていました。しかし、他の高校では多賀城高校以上に防災に取り組んでいる学校もあり、私たちもこれまで以上に力を入れていかないといけないと感じました。

この合宿は自分の考えだけでなく、人の意見を聞き、新たな知識を得る事が出来るので、機会があればまた参加し、新しい防災に対する知識を身につけたいと思います。

